西胆振地域連携研修･法人内研修　実施報告書

研修名	感染症対策研修

対象者	介護施設及び介護事業所に従事する職員（職種問わない）
日　程	令和５年 12 月 12 日（火）
会　場	ふる里の丘総合福祉館　１階　ふれあい広場

研修のねらい

新型コロナウイルス感染症は、令和５年５月８日に感染症法の位置づけが「5 類」に移行されました。しかしながら、ウイルスの感染力や高齢者の重症化リスクが低下するわけではありません。そのため、今後も介護施設及び介護事業所は感染症対策の徹底を前提としたサービスの継続が求められます。そこで本研修を通して、介護従事者が標準感染予防策と感染症発生時の備え・対応を理解し実践する力を身につけ、感染症対策の底上げを図り継続したサービス提供を目的とします。

研修プログラム

時　間	研修科目	講義形式	講師	研修内容
14:00～15:30（90 分）	感染症に対する基礎知識・対策の徹底	講義演習	幸豊の杜成香 2021） 大久保尚弥施設長	高齢者介護施設における感染症対策の基本的知識や感染多発を防止するための平常時の対策について学びます、また新型コロナウイルス感染症を含む高齢者介護施設における感染症が実際に発生した時の対策について、シミュレーション演習も行います。（ガウンテクニック等の実技も含む）

研修の様子

新型コロナウイルス感染症は５類に移行されたが、いまだ感染症拡大は穏やかに増加傾向である中、改めて感染症対策の基本的知識や職員の心構え、感染症が実際に発生した時の対応等をシミュレーションや実技演習を通して理解を深めていた。各事業所で設置される感染症対策マニュアルをもとに、引き続き取り組んでいくことを全体で確認した。